



平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月13日 東

上場会社名 前澤工業株式会社 上場取引所
 コード番号 6489 URL <http://www.maezawa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 正
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部経理部長 (氏名) 神田 礼司 (TEL) 048-251-5511
 兼経営企画室部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 平成27年2月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第2四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	9,616	16.3	△838	—	△853	—	△872	—
26年5月期第2四半期	8,270	△4.7	△1,095	—	△1,125	—	△1,118	—

(注) 包括利益 27年5月期第2四半期 △720百万円(—%) 26年5月期第2四半期 △1,065百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	△47.60	—
26年5月期第2四半期	△61.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第2四半期	30,494	14,308	46.9
26年5月期	32,132	15,184	47.3

(参考) 自己資本 27年5月期第2四半期 14,308百万円 26年5月期 15,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	3.00	—	3.00	6.00
27年5月期	—	3.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,800	13.4	950	34.5	890	35.7	720	48.5	39.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年5月期2Q	21,425,548株	26年5月期	21,425,548株
27年5月期2Q	3,090,942株	26年5月期	3,090,745株
27年5月期2Q	18,334,630株	26年5月期2Q	18,335,800株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しており、平成27年1月8日付で四半期レビュー報告書を受領しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資はこのところ弱い動きがみられ、企業収益も全体としては足踏みがみられるものの、雇用情勢は改善傾向にあるなど、景気は緩やかな回復基調が続いていると思われまふ。一方で、消費者マインドの低下や海外景気の下振れなど、引き続きわが国の景気を下押しするリスクもあり、依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資は総じて堅調に推移しているものの、公共投資関係費の削減およびコスト縮減が行われたことによる企業間競争の激化により、非常に厳しい環境が続きました。

このような状況のもとで当社グループは、成長企業への転換を図るため、上・下水道市場や環境関連分野の民間市場に対し、ユーザーニーズを的確に捉え、企業集団の連携を強化することにより販売力の強化を推進し、販売活動を展開してまいりました。その結果、受注高は18,483百万円（前年同期比10.6%増）、売上高は9,616百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

損益につきましては、トータルコストダウンの更なる追求や生産効率の大幅な向上をめざし、低原価体質を基調とした強固な企業体質の構築を推し進めるべく諸施策を実施した結果、経常損失は853百万円（前年同期1,125百万円の損失）、四半期純損失は872百万円（前年同期1,118百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの事業の特徴として、受注した装置類の納期等が3月末に集中することから、売上および利益計上が第4四半期に集中する傾向にあります。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①環境事業

環境事業については、公共投資関係費の削減等による企業間競争の激化により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、受注高7,841百万円（前年同期比29.9%増）、売上高4,019百万円（前年同期比24.4%増）、セグメント損失568百万円（前年同期707百万円の損失）となりました。

②バルブ事業

バルブ事業については、公共投資関係費の削減等による企業間競争の激化により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、受注高5,450百万円（前年同期比5.5%減）、売上高3,971百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント損失103百万円（前年同期127百万円の損失）となりました。

③メンテナンス事業

メンテナンス事業については、公共投資関係費の削減等による企業間競争の激化により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、受注高5,191百万円（前年同期比5.8%増）、売上高1,625百万円（前年同期比36.7%増）、セグメント損失156百万円（前年同期254百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は30,494百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,637百万円減少しました。主な変動項目としましては、現金及び預金が3,943百万円減少しており、仕掛品が820百万円、受取手形及び売掛金が496百万円増加しております。

負債合計は16,185百万円となり、前連結会計年度末に比べ762百万円減少しました。主な変動項目としましては、支払手形及び買掛金が2,605百万円減少しており、前受金が1,615百万円増加しております。

純資産合計は14,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ875百万円減少しました。主な変動項目としましては、利益剰余金が1,027百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の通期業績予想につきましては、平成26年7月14日に「平成26年5月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の算定方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が101百万円、繰延税金資産が1百万円増加し、利益剰余金が100百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,443	5,499
受取手形及び売掛金	6,506	7,003
電子記録債権	800	760
商品及び製品	1,931	2,031
仕掛品	1,607	2,427
原材料及び貯蔵品	1,065	1,211
繰延税金資産	8	33
その他	769	1,112
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	22,130	20,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,193	2,211
機械装置及び運搬具（純額）	1,006	1,260
工具、器具及び備品（純額）	440	442
土地	3,629	3,613
有形固定資産合計	7,268	7,528
無形固定資産	300	239
投資その他の資産		
その他	2,467	2,685
貸倒引当金	△34	△35
投資その他の資産合計	2,432	2,649
固定資産合計	10,001	10,417
資産合計	32,132	30,494

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,656	5,050
1年内償還予定の社債	310	310
1年内返済予定の長期借入金	233	233
リース債務	282	389
未払金	487	450
未払賞与	210	216
未払法人税等	105	33
前受金	1,114	2,729
工事損失引当金	91	57
完成工事補償引当金	—	22
その他	336	602
流動負債合計	10,827	10,097
固定負債		
社債	846	691
長期借入金	3,699	3,583
退職給付に係る負債	1,230	1,235
長期末払金	16	15
リース債務	144	301
繰延税金負債	183	261
固定負債合計	6,120	6,087
負債合計	16,947	16,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,233	5,233
資本剰余金	4,794	4,794
利益剰余金	5,904	4,876
自己株式	△1,007	△1,007
株主資本合計	14,925	13,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	259	411
その他の包括利益累計額合計	259	411
純資産合計	15,184	14,308
負債純資産合計	32,132	30,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
売上高	8,270	9,616
売上原価	6,883	7,994
売上総利益	1,386	1,622
販売費及び一般管理費	2,482	2,460
営業損失(△)	△1,095	△838
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	28	31
その他	5	5
営業外収益合計	35	38
営業外費用		
支払利息	48	42
支払手数料	12	9
その他	3	2
営業外費用合計	64	53
経常損失(△)	△1,125	△853
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	11	25
特別損失合計	11	26
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,136	△880
法人税、住民税及び事業税	16	15
法人税等調整額	△33	△22
法人税等合計	△17	△7
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,118	△872
四半期純損失(△)	△1,118	△872

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,118	△872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	152
その他の包括利益合計	53	152
四半期包括利益	△1,065	△720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,065	△720
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,136	△880
減価償却費	272	299
引当金の増減額(△は減少)	△45	△10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△96
受取利息及び受取配当金	△30	△32
支払利息	48	42
支払手数料	11	8
為替差損益(△は益)	△0	△0
固定資産売却損益(△は益)	△0	1
固定資産除却損	11	25
売上債権の増減額(△は増加)	1,152	△232
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,415	△1,066
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,423	△2,669
前受金の増減額(△は減少)	689	1,616
未払消費税等の増減額(△は減少)	△241	0
未払賞与の増減額(△は減少)	△295	6
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△136	△503
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△424	252
その他	△5	10
小計	△5,968	△3,229
利息及び配当金の受取額	30	32
利息の支払額	△55	△39
法人税等の支払額	△159	△192
法人税等の還付額	55	74
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,098	△3,353
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△157	△121
有形固定資産の除却による支出	△1	△10
有形固定資産の売却による収入	175	16
有形固定資産の売却に伴う支出	—	△0
無形固定資産の取得による支出	△5	△7
貸付金の回収による収入	2	2
その他	6	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	20	△121

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100	300
短期借入金の返済による支出	△100	△300
長期借入れによる収入	2,600	—
長期借入金の返済による支出	△2,500	△116
社債の償還による支出	△127	△155
支払手数料の支払額	△46	△2
リース債務の返済による支出	△294	△140
自己株式の増減額(△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△72	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△440	△468
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,517	△3,943
現金及び現金同等物の期首残高	9,999	9,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,481	5,313

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	環境事業	バルブ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,231	3,849	1,189	8,270	—	8,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	115	10	138	△138	—
計	3,244	3,965	1,199	8,409	△138	8,270
セグメント損失(△)	△707	△127	△254	△1,089	△6	△1,095

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	環境事業	バルブ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,019	3,971	1,625	9,616	—	9,616
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	223	16	265	△265	—
計	4,044	4,195	1,642	9,882	△265	9,616
セグメント損失(△)	△568	△103	△156	△828	△10	△838

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。